令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全・安心に暮らせるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全・安心が守られる社会環境の充実		課(室)名	消防局総務課
	施策	消防・救急体制の充実		電話番号	087-861-2502
	取組方針	消防力の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	北消防署再整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松市北消防署は、敷地面積2,039.01平方メートルの中に、庁舎のほか、水防倉庫、自転車置き場、車庫等がある。庁舎は、鉄筋コンクリート造、地下1階、地上4階建て、延べ面積4,937.86平方メートルの建物で、昭和49年7月に竣工し、建築後49年が経過している。老朽化に伴い、排水・污水管の詰りなど、年々、修繕費が増加しているほか、近年の消防車両の大型化による車庫スペースの不足など、狭あい化の問題も生じているため、再整備を行うもの。			
年度概要				
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	消防組織法

【事業の目的】

対象（何を）	高松市北消防署
意図（どのような状態にしたいか）	施設の老朽化に伴い、排水・污水管の詰りなど、年々、修繕費が増加しているほか、近年の消防車両の大型化による車庫スペースの不足など、狭あい化の問題も生じているため、再整備を行うもの。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
活動指標設定なし	件	0	0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	成果指標設定なし	件	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施設の整備スケジュール等が未定のため、成果指標を設定できない。施設整備予定地が決まりしだい成果指標を設定予定。							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	成果指標設定なし		目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	施設等の整備スケジュール等が未定のため、成果指標を設定できない。施設整備予定地が決まりしだい成果指標を設定予定。							

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	15,773	15,440	15,440
(事業費)	[千円]	0	719	0	0
(職員人件費)	[千円]	0	15,054	15,440	15,440

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	
令和 7 年度			総額	0	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	0	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	24 / 30 (80%)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

北消防署の老朽化・狭あい化に伴い、再整備が必要であることから、整備用地について、土地の広さ、高さ、進入路等を考慮した検討を行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

北消防署の整備用地について、市有地を候補とする中で、引き続き、土地の広さ、高さ、進入路等を勘案した上で、選定・検討を実施し、再整備を行う。